



川柳 250 年の誇り



記念碑除幕直後の台東区長・吉住弘氏（中央向って左）と川柳 250 年実行委員長・前田安彦氏（右の碑へ手を伸ばす方）ほか、式に参列した方々。

8月25日、新堀通り（旧新堀川筋）三筋二丁目交差点の歩道において、川柳 250 年のメイン行事、〈川柳発祥の地〉記念碑除幕式が行なわれた。この場所は、天台宗龍宝寺の旧門前地にあたり初代川柳こと柄井八右衛門が支配した門前町の一角である。

龍宝寺境内において、150 名を越える政界関係者、地元関係者、川柳家などが集まり、まず吉住弘川柳 250 年会長（台東区長）より、地元の歴史的文化的文化発信の慶びの挨拶の後、尾藤三柳川柳 250 年実行委員（日本川柳ペンクラブ理事長）より川柳の発祥と 250 年の意義が語られ、蔵前三桂町会会長鶴原定良氏より、街の誇りと、今後の川柳を通じた地元文化発展への意気込みが述べられ、会場を記念碑のある交差点に移して、除幕式が行なわれた。北海道から沖縄まで全国から記念の行事に参加するため集まった川柳家のほか、高木角恋坊を顕彰しつづけるほろほろ忌川柳俳句会の宮野誠氏を先頭に 20 名がマイクロバスで駆けつけ、報道陣のカメラや取材の方々が轟く中、純白の蔽いが落とされた。

正面の「川柳発祥の地」という深く刻まれた文字は、吉住会長の筆。天面には、『江戸名所図会』より成瀬石材の匠の手になる石彫技術の粋を発揮して刻まれた「新堀端龍宝寺の図」と、三柳撰文の建立主旨。向かって右側面には、台東区の誇る仏師・大川幸太郎の手になる初代川柳像のレリーフ。背面には、関係者の名前が刻まれた。

これまで、多くの個人を顕彰する句碑などは多く作られてきたが、川柳という文芸を文化として発信するモニュメントの誕生は、川柳が誇りをもって社会へ向う新しい一歩となった。

<問合せ・ご意見>

川柳 250 年実行委員会事務局

〒114 - 0005 東京都北区栄町 38-2

電話：03-3913-0075

URL ; http://www.senryu-gakkai.com/senryu_250/index.html

e-mail : senryu250@estyle.ne.jp

Fax. : 03-3913-1512